

平成 20 年 9 月 26 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹  
コード番号 1605 東証第 1 部  
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・エネルギー・マネージャー 宮本 修平  
電話番号 03-5572-0233

## イクシスプロジェクト 液化天然ガス (LNG) プラント建設予定地の決定について

このたび、イクシスプロジェクトを推進している当社子会社インペックス西豪州ブラウズ石油株式会社は、パートナーの TOTAL とともに、同プロジェクトの液化天然ガス (LNG) のプラント建設予定地を、オーストラリア連邦北部準州ダーウィン近郊とすることを決定いたしましたのでお知らせいたします。これに伴い、当社は本日、オーストラリア連邦北部準州ダーウィンにおいて、ファーガソン連邦資源観光大臣およびヘンダーソン北部準州主席大臣の臨席のもと本決定に関する発表を行いました。

陸上プラント建設予定地の正式決定により、イクシスプロジェクトは、その実現にむけ大きな一歩を踏み出しました。

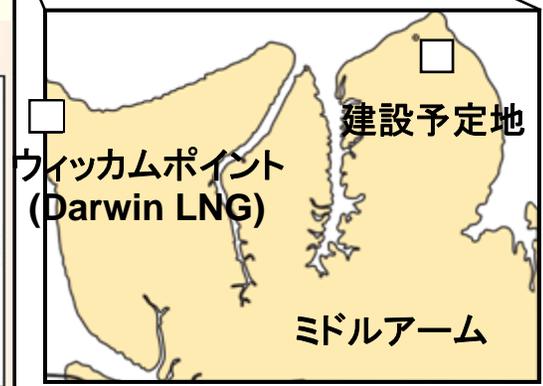
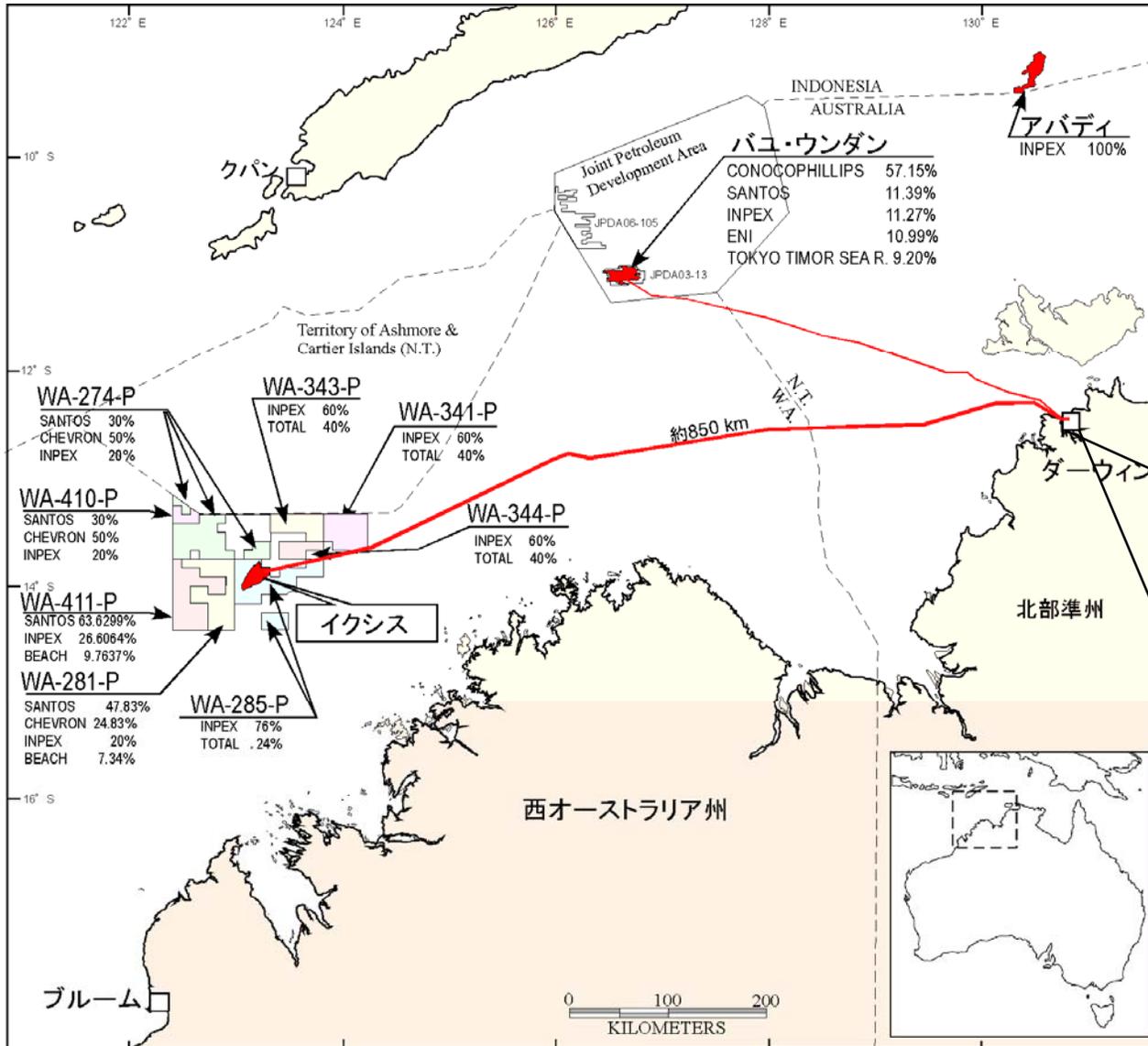
当社は、76%の参加権益を保有するオペレーターとして、24%の権益を保有する TOTAL とともに、この建設予定地の決定を受けて、まもなく基本設計作業 (FEED) を開始し、2009 年年末乃至 2010 年年初の最終投資決定、2014 年内乃至 2015 年のできるだけ早い時期の生産開始を目指してまいります。なお、プロジェクトの投資額 (CAPEX) は FEED を通じて今後検討していく予定ですが、現段階では 200 億米ドルをある程度超えることと想定しております。

イクシスプロジェクトの天然ガス及びコンデンセートの可採埋蔵量は、12.8 兆立方フィート、5 億 2,700 万バレル (原油換算合計約 30 億バレル※) と評価しており、年間 800 万トン超の LNG、年間 160 万トンの LPG (液化石油ガス) および日量 10 万バレル (ピーク時) のコンデンセートを生産する計画です。これは、現在のオーストラリアの年間 LNG 生産量の 50%、LPG 生産量の 60%、原油 (含コンデンセート) 日産量の 20% を占める生産規模です。このため、輸出振興、雇用促進の観点から、オーストラリアの産業を発展させる、そして、日豪二国間の関係を一層緊密にするプロジェクトとして期待されております。また、LNG の生産規模は、わが国の LNG 総輸入量 (2007 年実績) の 1 割強を占める大規模なものであり、当社といたしましては、わが国のエネルギーの効率的で安定的な供給に資するよう、本邦への輸出を念頭にプロジェクトの検討を進めております。

当社は、北部準州をはじめとするオーストラリアの関係者およびプロジェクト関係者の方々の理解および協力を得ながら、イクシスプロジェクトを早期に立ち上げるために鋭意努力してまいります。

以上

※ オーストラリア政府へ報告しているイクシスガス・コンデンセート田全体の埋蔵量



イクシスプロジェクト位置図



記者会見写真

(左から、ファーガソン連邦資源観光大臣、当社黒田、ヘンダーソン北部準州主席大臣)